



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社

コード番号 9873 URL <http://japan.kfc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 渡辺 正夫

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理ユニットゼネラルマネージャー (氏名) 野村 聖

TEL 03-3719-0231

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日

平成25年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・証券アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	39,880	△5.4	377	△54.2	413	△53.9	174	△65.4
25年3月期第2四半期	42,175	0.2	823	△32.7	895	△28.7	504	△29.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 160百万円 (△67.9%) 25年3月期第2四半期 497百万円 (△29.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	7.77	—
25年3月期第2四半期	22.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	38,105	22,808	59.9	1,016.62
25年3月期	40,308	23,214	57.6	1,034.60

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 22,808百万円 25年3月期 23,214百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
26年3月期	—	25.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,000	△5.7	700	△70.8	800	△68.1	100	△91.7	4.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(注) 特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、フェニックス・フーズ株式会社、ケイ・ダイニング株式会社、レッドルーフ・ビザ株式会社及びレッドルーフ・ナチュラル株式会社を設立したため、連結の範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	22,783,000 株	25年3月期	22,783,000 株
26年3月期2Q	347,315 株	25年3月期	345,235 株
26年3月期2Q	22,436,896 株	25年3月期2Q	22,446,093 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、現政権下による経済政策への期待感から円安を背景とした輸出環境の持ち直しにより、景気に緩やかな回復傾向が見られたものの、海外における経済不安、今後の税制改革の影響など引き続き先行きは不透明な状態が続いております。

外食業界におきましても、生活防衛意識による節約・低価格志向が継続しており、依然として厳しい経営環境が続きました。

こうした環境の下、当社グループ（当社及び連結子会社）は、新中期経営計画『A B R 2014-Achieving Breakthrough Results 2nd Stage-』に基づき、「K F C事業の新たな挑戦」「ピザハット事業の構造改革」「新規事業のビジネスモデル確立」を重点施策と位置づけ、ブランド価値の一層の向上を目指すとともにその確実な実現に向け、「I Tの戦略的活用と新しいマーケティング手法の確立」「人材育成と組織能力の強化」「事業基盤の強化」を掲げ、迅速且つ機動的に実行してまいりました。

また、「食の安全・安心」に注力するとともに、新商品の投入やマスメディアやソーシャルメディアなどといったクロスメディアの活用による広告宣伝活動を展開しました。

しかしながら、消費者の節約志向の恒常化の影響により、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は398億8千万円（対前年同期比5.4%減）、営業利益は3億7千7百万円（同54.2%減）、経常利益は4億1千3百万円（同53.9%減）、四半期純利益は1億7千4百万円（同65.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間の連結財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は22億3百万円減少し、381億5百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加24億7千9百万円、有価証券の減少39億9千9百万円、たな卸資産の減少2億3千万円及び無形固定資産の減少1億8千4百万円等によるものであります。

負債は17億9千7百万円減少し、152億9千7百万円となりました。その主な要因は、買掛金の減少6億5千7百万円及び未払金の減少8億5千4百万円等によるものであります。

純資産は228億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億5百万円減少し、自己資本比率は59.9%となっております。その主な要因は、四半期純利益の計上1億7千4百万円、剰余金の配当による減少5億6千万円及び自己株式の取得による減少4百万円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して4億7千9百万円増加し、119億8千1百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは6千2百万円の収入となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益4億6千1百万円、減価償却費11億1千4百万円、仕入債務の減少6億5千7百万円、未払金の減少7億5千4百万円及び法人税等の支払額7億2千万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは10億9千万円の収入となりました。その主な要因は、定期預金の預入による支出60億円、定期預金の払戻による収入50億円、有価証券の償還による収入30億円及び有形・無形固定資産の取得による支出10億1千5百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは6億7千4百万円の支出となりました。これは、配当金の支払額5億6千2百万円、リース債務の返済による支出1億7百万円及び自己株式の取得による支出4百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年4月24日に公表しました「平成25年3月期決算短信」に記載の平成26年3月期の通期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）の数値を変更しております。詳細は、本日開示しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間において、フェニックス・フーズ株式会社、ケイ・ダイニング株式会社、レッドルーフ・ピザ株式会社及びレッドルーフ・ナチュラル株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,502	15,981
売掛金	3,775	3,711
有価証券	3,999	—
商品	668	425
原材料及び貯蔵品	61	74
前払費用	414	369
短期貸付金	8	8
繰延税金資産	376	339
その他	764	596
貸倒引当金	△231	△91
流動資産合計	23,340	21,415
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,090	2,134
土地	2,647	2,647
その他(純額)	1,446	1,394
有形固定資産合計	6,184	6,176
無形固定資産		
のれん	2	1
ソフトウェア	2,650	2,450
ソフトウェア仮勘定	188	205
その他	109	108
無形固定資産合計	2,950	2,765
投資その他の資産		
投資有価証券	162	140
差入保証金	5,788	5,728
繰延税金資産	1,734	1,752
その他	294	298
貸倒引当金	△145	△170
投資その他の資産合計	7,833	7,748
固定資産合計	16,968	16,690
資産合計	40,308	38,105

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,568	5,911
未払金	4,187	3,333
リース債務	211	208
未払法人税等	788	322
未払費用	213	243
賞与引当金	509	395
役員賞与引当金	30	—
資産除去債務	4	13
その他	515	784
流動負債合計	13,029	11,212
固定負債		
リース債務	207	133
退職給付引当金	2,696	2,692
役員退職慰労引当金	64	—
ポイント引当金	81	64
長期未払金	—	204
資産除去債務	618	606
その他	395	383
固定負債合計	4,065	4,084
負債合計	17,094	15,297
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,297	7,297
資本剰余金	10,430	10,430
利益剰余金	6,165	5,779
自己株式	△710	△714
株主資本合計	23,182	22,791
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	31	16
その他の包括利益累計額合計	31	16
純資産合計	23,214	22,808
負債純資産合計	40,308	38,105

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	42,175	39,880
売上原価	22,794	21,474
売上総利益	19,380	18,406
販売費及び一般管理費	18,556	18,028
営業利益	823	377
営業外収益		
受取利息	6	3
受取配当金	1	1
受取賃貸料	126	83
その他	17	12
営業外収益合計	152	101
営業外費用		
支払利息	7	4
店舗改装等固定資産除却損	17	18
賃貸費用	49	36
その他	6	5
営業外費用合計	80	65
経常利益	895	413
特別利益		
店舗譲渡益	14	46
受取補償金	41	16
特別利益合計	56	62
特別損失		
固定資産除却損	18	7
店舗閉鎖損失	1	5
減損損失	0	0
特別損失合計	20	13
税金等調整前四半期純利益	930	461
法人税、住民税及び事業税	375	260
法人税等調整額	51	27
法人税等合計	426	287
少数株主損益調整前四半期純利益	504	174
四半期純利益	504	174

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	504	174
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	△14
その他の包括利益合計	△6	△14
四半期包括利益	497	160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	497	160
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	930	461
減価償却費	1,173	1,114
減損損失	0	0
有形固定資産除却損	22	23
受取補償金	△42	△16
店舗譲渡損益(△は益)	△14	△46
貸倒引当金の増減額(△は減少)	50	△115
賞与引当金の増減額(△は減少)	△43	△114
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△32	△30
退職給付引当金の増減額(△は減少)	16	158
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6	△23
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△4	△16
受取利息及び受取配当金	△7	△5
支払利息	7	4
売上債権の増減額(△は増加)	25	188
たな卸資産の増減額(△は増加)	169	230
仕入債務の増減額(△は減少)	△172	△657
未払金の増減額(△は減少)	△307	△754
未払費用の増減額(△は減少)	25	29
前受収益の増減額(△は減少)	△90	338
未払消費税等の増減額(△は減少)	139	△30
その他	128	24
小計	1,981	765
利息及び配当金の受取額	6	6
利息の支払額	△7	△4
受取補償金の受取額	—	16
法人税等の支払額	△170	△720
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,810	62
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,000	△6,000
定期預金の払戻による収入	5,000	5,000
有価証券の取得による支出	△4,000	—
有価証券の償還による収入	3,000	3,000
店舗譲渡による収入	29	89
有形固定資産の取得による支出	△553	△706
無形固定資産の取得による支出	△377	△309
貸付けによる支出	△4	△4
貸付金の回収による収入	5	4
敷金及び保証金の差入による支出	△51	△40

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
敷金及び保証金の回収による収入	95	79
その他	—	△21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,856	1,090
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△17	△4
リース債務の返済による支出	△106	△107
配当金の支払額	△563	△562
財務活動によるキャッシュ・フロー	△687	△674
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△733	479
現金及び現金同等物の期首残高	11,058	11,502
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,325	11,981

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

II 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	KFC事業	ピザハット事業	その他事業	
売上高				
外部顧客への売上高	34,137	7,788	249	42,175
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	34,137	7,788	249	42,175
セグメント利益又は損失(△)	3,019	△75	△41	2,902

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,902
全社費用(注)	△2,078
四半期連結損益計算書の営業利益	823

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	KFC事業	ピザハット事業	その他事業	
売上高				
外部顧客への売上高	32,109	7,509	261	39,880
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	32,109	7,509	261	39,880
セグメント利益又は損失(△)	2,707	△236	△42	2,429

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,429
全社費用(注)	△2,051
四半期連結損益計算書の営業利益	377

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。